

〔遺伝資源の収集・評価・保存〕

5月上旬まきトルコギキョウ「プラティニブルー」品種特性

田旗裕也・岡澤立夫・鶴沢玲子*

(園芸技術科) *現南多摩普セ

【要約】「プラティニブルー」は晩生の大輪咲きで切り花長と茎径に優れる特性がある。5月上旬まきでは8月下旬に収穫のピークを迎え、花および葉やけも少なく、ロゼット発生も少ないことから、本種と作型は都内直売切り花生産者への普及性が見込まれる。

【目的】

農総研選抜系統を片親に持つ「プラティニブルー」について、5月まき夏秋どりの作型で品種特性を把握し、都内直売切り花生産者への普及指導上の資料とする。

【方法】

品種は「プラティニブルー(図1)」他、紫色系8品種および弱ロゼット性種「キングオブスノー」と現地普及種「つくしの羽衣」の全11品種を供試した(表1)。2012年5月10日に培養土「ガッチリくん花用」で200穴セルトレイへコーティング種子を1穴1粒で播種した。育苗は農総研ガラス温室内で行い、内装遮光フィルムやミスト送風で地温上昇を抑えながら40日間育苗した。6月20日に単棟パイプハウス内に穴あき黒マルチを敷設し、ベット幅90cm5条中央1マス空け株間15cmで定植した。定植圃には予め2m³/aの川砂を混和し、三要素各0.1kg/aを基肥に与え、定植後20-20-20液肥を1000-2000倍希釈で適宜追肥した。2輪開花時を収穫適期とし、収穫時に主茎長等の生育調査および主茎曲り程度等の調査を行った。収穫は切り下3節残し、試験規模は各品種20株の2区制とした。

【成果の概要】

1. 「プラティニブルー」の平均収穫日は8月30日で、「つくしの羽衣」と同等に晩生の性質が強かった。切り花長は「つくしの羽衣」と同等に長くなった。着花蕾数は、「F₁響MEX6053」が格段に多く、「プラティニブルー」は平均6.1本で少なかった。「プラティニブルー」の茎径は他品種に比べ太く、第一花着生節位はやや高かった。また、「プラティニブルー」は外花弁長が長く、葉身長・幅ともに大きくなる特性があり、葉身長/葉巾比は1.7で幅広の形状だった。SPAD値で表される葉緑素値は中位だった(表2)。
2. 「プラティニブルー」は収穫物の曲がり程度が中位で、曲がりによる非売本数は皆無だった。花やけの程度がややあったものの、花やけによる非売率は小さく、葉やけとロゼットの発生もなかったことから、本作型でも生育上の支障はしようじなかった(表3)。
3. 花弁内面外縁部を色差計(NR-11B 日本電色工業 C光源)で測色したところ、L*, a*, b*, の各要素とも「エクローサブルー」と「プラティニブルー」間に有意差が認められた。特に明度が高く品種間の色差ΔE*は25.60で、系統色名では別の色名になる(図2)。
4. まとめ:「プラティニブルー」は晩生咲きで切り花長と茎径に優れ、花弁も大きかった。普及品種「つくしの羽衣」と同様のボリュームが見込まれ、都内直売産地への普及性は十分である。今後、盆・彼岸出荷に合わせた栽培体系確立が必要である。

表1 供試品種一覧

品種	種苗会社*1	カタログデータ				備考
		花色	開花早晚性	花径	花の重ね	
プラティニブルー	K	薄紫	中晩生	中大輪	八重	
ロジーナブルー-ver.2	Sa	紫	中生	中輪	八重	
ロジーナ3型ブルー	Sa	紫	晩生	中輪	八重	
F ₁ ラブミーブルー	M	紫	中晩生	中大輪	八重	
F ₁ 響MEX6053	M	紫	晩生	中輪	八重	
エクローサブルー	Sa	紫	中早生	大輪	八重	
ピッコロサブルー	Sa	紫	早生	中輪	八重	
F ₁ セレモニーブルーフラッシュ	Sa	薄紫	中晩生	中大輪	八重	しばり花
ブロードブルー	Su	紫	中早生	中小輪	一重	
つくしの羽衣	Sa	桃	晩生	大輪	一重	現地普及品種
キングオブスノー	Sa	白	早生	大輪	八重	耐ロゼット性品種

注1:種苗会社凡例 K=カネコ種苗(株), Sa=(株)サカタのタネ, M=(株)ムラカミシード, Su=住化農業資材(株)

表2 2012年5月上旬まきトルコギキョウ品種の開花, 生育特性

品種	収穫期		切り花長 (cm)	着花蕾数 (/本)	茎径 (mm)	第1花 開花節数	外花弁長 (mm)	葉身長 (mm)	葉幅 (mm)	葉身長/葉幅 比率	SPAD値
	平均	95%信頼区間									
プラティニブルー	8月30日	0.8	64.3	6.1	4.0	9.4	57.7	75.0	42.9	1.7	66.8
ロジーナブルー-ver.2	8月25日	1.2	51.4	7.0	3.3	8.5	40.0	73.1	39.1	1.9	62.4
ロジーナ3型ブルー	8月26日	1.7	49.3	5.2	3.1	8.6	41.4	60.1	32.9	1.8	65.4
F ₁ ラブミーブルー	8月22日	0.7	53.6	6.6	3.0	8.5	55.1	72.5	36.8	2.0	63.1
F ₁ 響MEX6053	8月30日	2.5	53.7	10.4	3.9	10.1	51.7	78.1	37.3	2.1	64.6
エクローサブルー	8月31日	1.4	55.4	6.3	3.5	8.5	54.9	78.5	39.4	2.0	70.2
ピッコロサブルー	8月24日	2.1	50.6	5.1	3.2	8.2	45.8	70.1	33.9	2.1	65.3
F ₁ セレモニーブルーフラッシュ	8月26日	0.8	58.9	5.8	3.4	8.8	51.1	62.4	36.4	1.7	68.3
ブロードブルー	8月18日	0.9	45.5	5.5	3.1	8.1	42.3	57.5	34.7	1.7	57.5
つくしの羽衣	8月29日	0.9	64.1	7.9	3.5	9.8	50.9	60.0	38.6	1.6	65.2
キングオブスノー	8月15日	0.5	49.6	7.0	3.0	7.1	55.9	81.3	38.0	2.1	68.5

** 2012年5月10日まき, 下段に付した**は, F-testにより品種間に5%の危険率で有意差があることを示す。

表3 「プラティニブルー」曲がり程度, 葉やけ・花やけ程度, ロゼット発生株率

品種	切り花の曲がり		花やけ		葉やけ		ロゼット 発生株率(%)
	程度	非売(=3)株率(%)	程度	非売(=3)株率(%)	程度	非売(=3)株率(%)	
プラティニブルー	15.0	0.0	9.2	0.0	0.0	0.0	0.0
F ₁ ラブミーブルー	30.0	0.1	9.2	0.0	0.8	0.0	0.0
F ₁ 響MEX6053	4.4	0.0	4.4	0.0	1.8	0.0	0.0
エクローサブルー	3.3	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ピッコロサブルー	21.6	0.0	5.4	0.0	0.9	0.0	5.0
つくしの羽衣	5.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
キングオブスノー	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

注) 指値: 0=無 1=微 2=中 3=甚, 程度=Σ(度数×指値)/(4×調査個体数), 非売率は指値3の株率(%)



図1 「プラティニブルー」の外観
2012年9月撮影

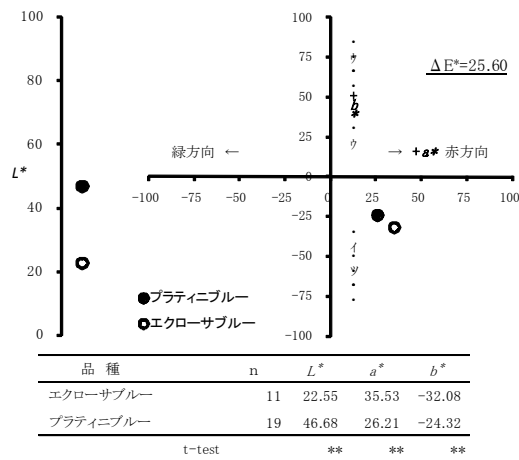


図2 「プラティニブルー」内花弁色

注)・ハンディー型色彩・濃度計NR-11B(日本電色工業)C光源で計測。

JIS Z 8730, 8722-6準拠, 背面白色板使用。

・下段の**印は, t-testにより品種間の数値に1%の危険率で有意差あり。